

令和7年度 児童朝会 講話

■令和7年 12月8日 No.20

おはようございます。今日のいいとこみつけたよ(14)です。少し前にファミリーマート中宮店で目に障がいがあり、お買い物で困っている人がいました。「チョコレートが買いたいけど、どこかしら…」すると、そこにいた大宮西小の3人の女子児童が「こっちにチョコレートありますよ」とその人を助けてあげたそうなんです。さらにその人が、お買い物を終えたあとに、江野公園に行こうとしていたところ、「私たちが、案内しますよ」江野公園まで送り届けてあげたそうです。

どうして校長先生が、この話を知っているかというと、ファミリーマートにたまたまおられた地域の方が、この一部始終を見られていて、「こんなすばらしい小学生がいる」とわざわざ学校にお電話をくれたのです。

①困っている人がいたときに、やさしく声をかけることができたこと。②だれかにほめられようと思ってやっていないこと。この2点で校長先生は感心しました。またこのように、みかえりを求めない行動を何と言うか知っていますか？「愛」と言います。これも「愛」にあふれた行動のひとつなのです。

また、先週もたくさん、パッケンそうじ(主体的清掃)をがんばっている児童を見ました。落ち葉拾い、流し掃除、廊下みがき、靴箱の掃除などなどみなさんのおかげで、学校中が本当にきれいになってきました。ありがとうございます。

そして、いろはうたの第2の暗号の方にもたくさん回答をいただきありがとうございました。奥山が怪しいという答えが多かったのですが、どうでしょう。正解が定まっていないので、この話はこれぐらいで終わろうと思います。

今日は、みなさんと一編の詩を味わおうと思います。三好達治さんの「雪」です。

あとに続いて音読しましょう。

まずは、全員で。では、2、4、6年から、続い

て1、3、5年で。次に男子から、次に女子。今度はその逆で。では、もう一度全員で、頭のテレビに情景を思い浮かべながら読んでいきましょう。

太郎を 眠らせ、
太郎の 屋根に 雪ふりつむ。
次郎を 眠らせ、
次郎の 屋根に 雪ふりつむ。

もう、みんな何か話したくて、うずうずしていますね。では、近くの人と聞き合ってみてください。すごいですね。5分近くお話がとまりませんね。このように、自分が思ったこと、わからないことをお友だちとお話することを「聴き合い」と言います。

聴き合うポイントを整理しておきます。

A どんな状況かな？

①何時ごろ 朝？昼間？夜？

②場所はどこかな？

B 雪について

①どんな降り方かな？強い？弱い？

②どれぐらい積もっているかな？

C 太郎と次郎について

①2人は兄弟かな？他人かな？

②同じ家に住んでいる？別の家？

③誰が、太郎と次郎を眠らせようとしているのかな？

このように、わからないこと、自分の考えを伝え合うことを「聴き合う」と言います。

では、ここまで聴き合ってみなさんが思い浮かぶ光景はどれが一番近いでしょうか？



今週のお題は、この「雪」を読んだ感想とします。よかったら、校長室前のボードに書いてください。また上のイラストの投票もお願いします。

今日も最後まで静かに聞いていただき、ありがとうございました。